

論文試験 1

出題テーマ

以下の文章は、フロレンス・ナイチンゲール「看護覚え書－看護であること看護でないこと－」(第8版・2023年)の「からだの清潔」一部です。看護であることとは何か、あなたのこれまでの看護職としての実践経験(臨床経験)を踏まえて具体的に論じてください。

皮膚をていねいに洗ってもらい、すっかり拭ってもらったあとの病人が、解放感と安らぎとに満たされている様子は、病床でよく見かける日常の光景である。……………(中略)……………
その解放感や安らぎは、生命力を圧迫していた何ものかが取り除かれて、生命力が解き放たれた、まさにその徴候のひとつなのである。したがって看護師は、患者の身体の清潔に関する世話を、どうせちょっと気分がよくなるだけのことから、時間がずれても同じこと、などという口実のもとに、何かの後まわしにするようなことを絶対にしないことである。
管理の行き届いている病院においては、この種の世話は必ず実施することになっているし、またきちんと実施されている。しかし在宅の病人においては、一般にあまりきちんと実施されていない。

文字数 1000 字

時間 90 分